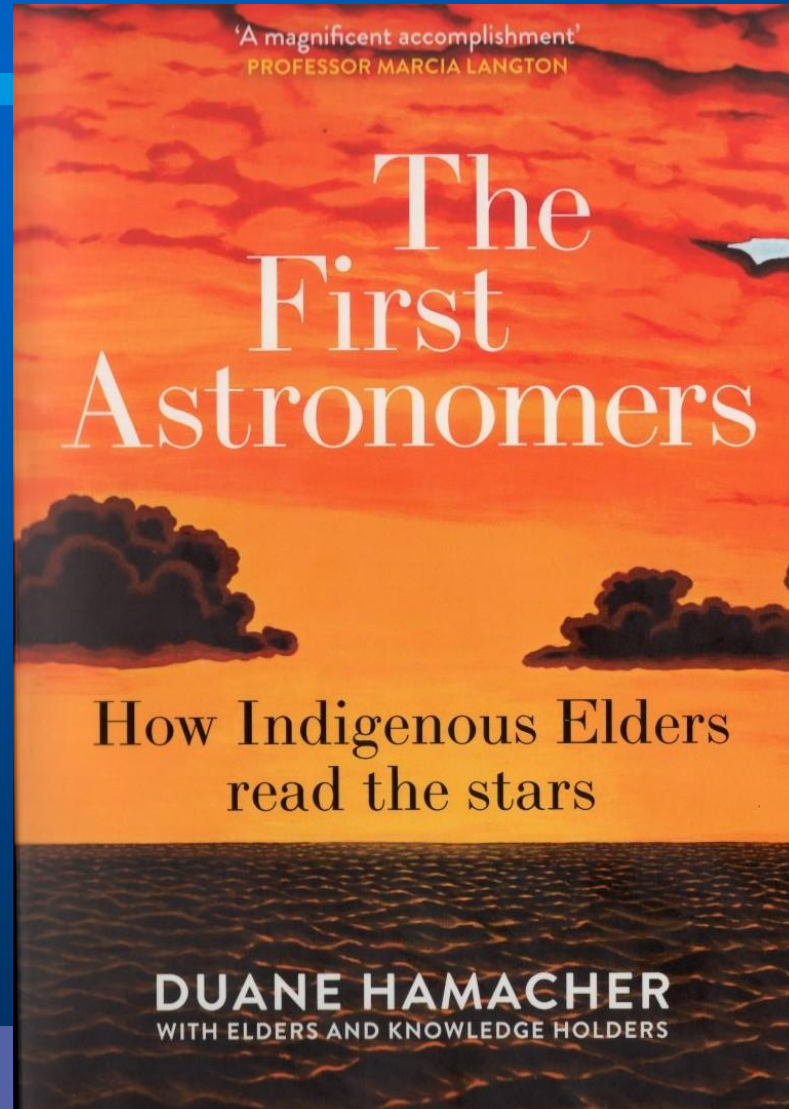


平取町2025年度公開研究会
「沙流川の水、森そして空：二風谷の歴史文化景観の再発見」

「ファースト・アストロノマーたち： 文化天文学の現状と平取での企画の背景」

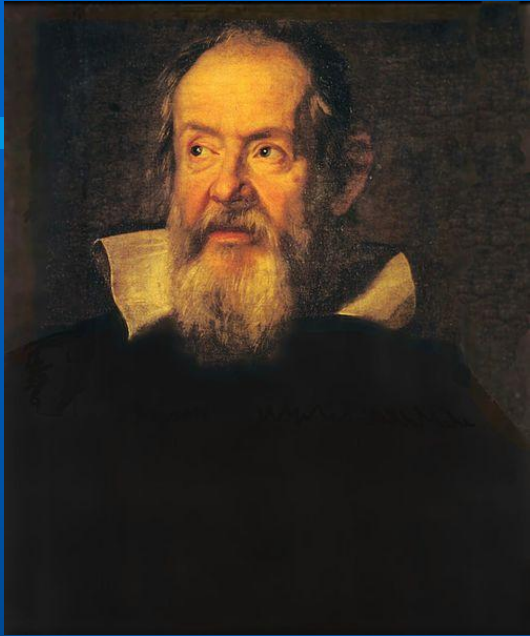
後藤 明（喜界島サンゴ礁科学研究所）

「ファースト・アストロノマー」

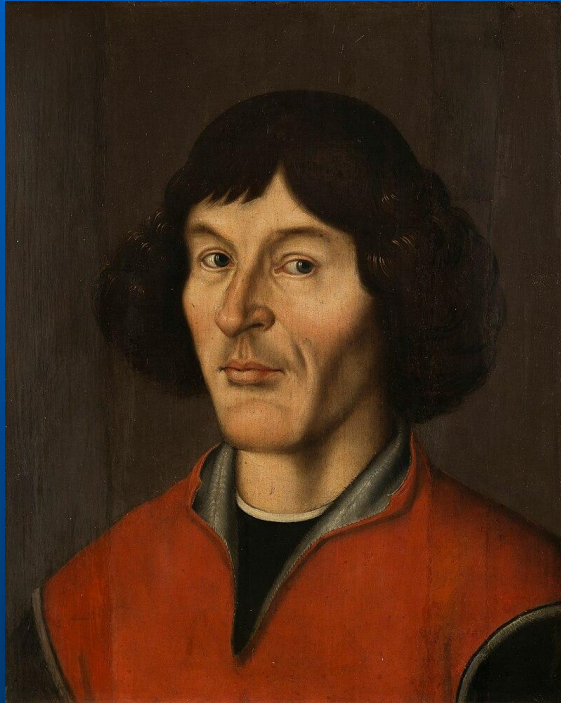


cf. ファースト・ピープル
ファースト・ネーション

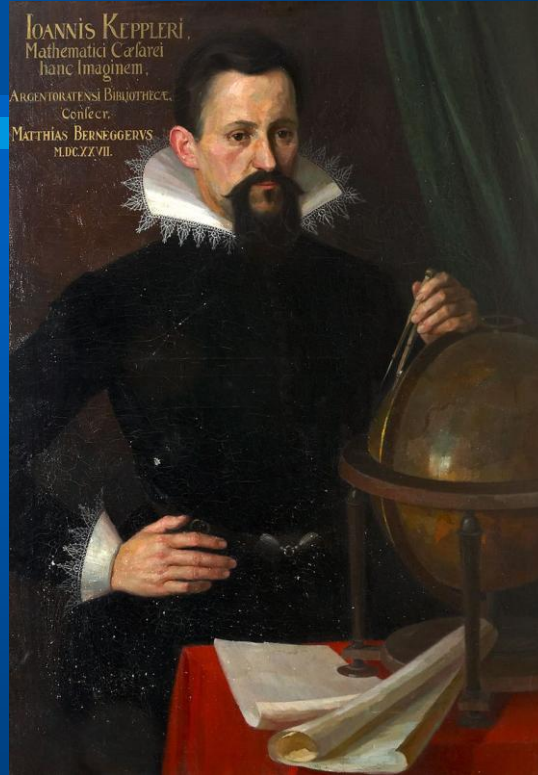
最初の天文学者とは？



ガリレオ・ガリレイ

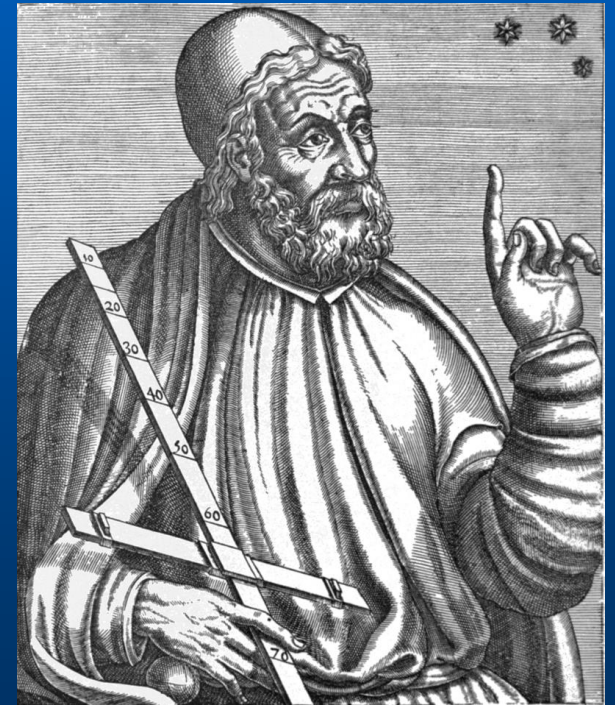


ニコラウス・コペルニクス



ヨハネス・ケプラー

クラウディア・プトレマイオス



天文学の定義

ファースト・アストロノミーのコンセプトは、在地(indigenous)の知識のありかたは科学を含んでいないという共通認識への挑戦である・・・その知識は、われわれが今日直面しているいくつかの問題への洞察と解決に繋がる観察、演繹、実験(実践)し、集合的な知識を形作る(2022:1)。

(北米ダコタ族の天文学者A.Lee) それは(西洋の科学)のように試験管を使ったりしないだけで、やり方が違うだけである・・・西欧の科学ではしばしば知識はそれを発見した人からは離れていると考えられる。しかし在地の文化は知識を人々と不可分に結びつけている。われわれは単に外からそれを観察している存在ではない。われわれはその一部なのである」(2022: 17)。

ファースト・アストロノマーを探る「文化天文学」

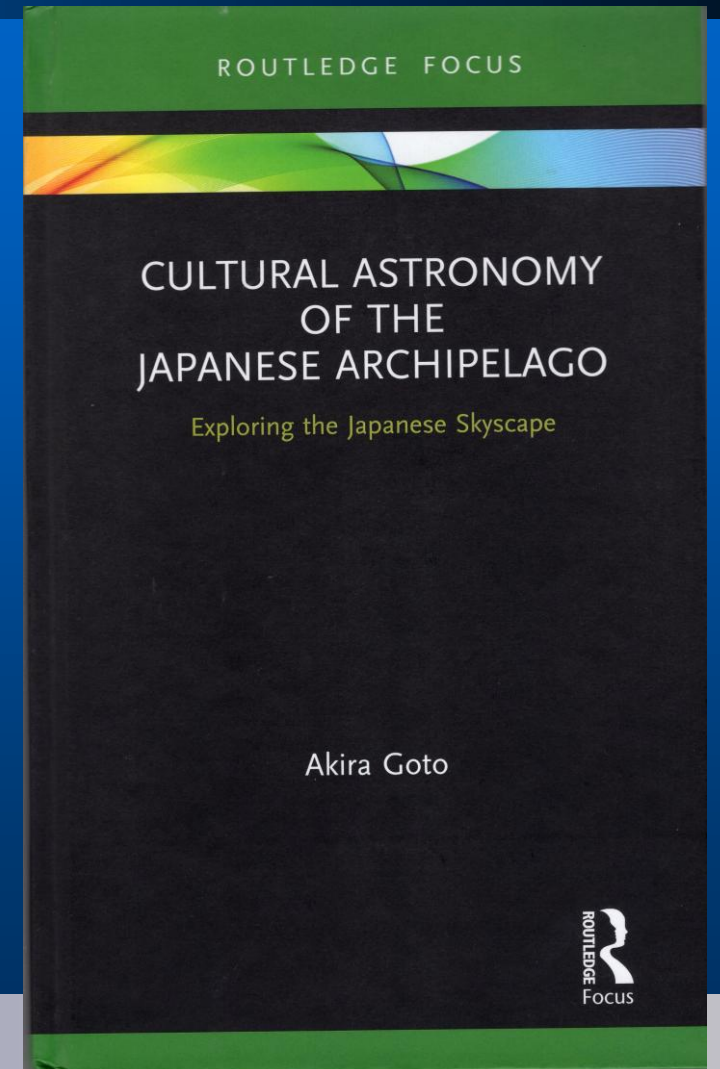
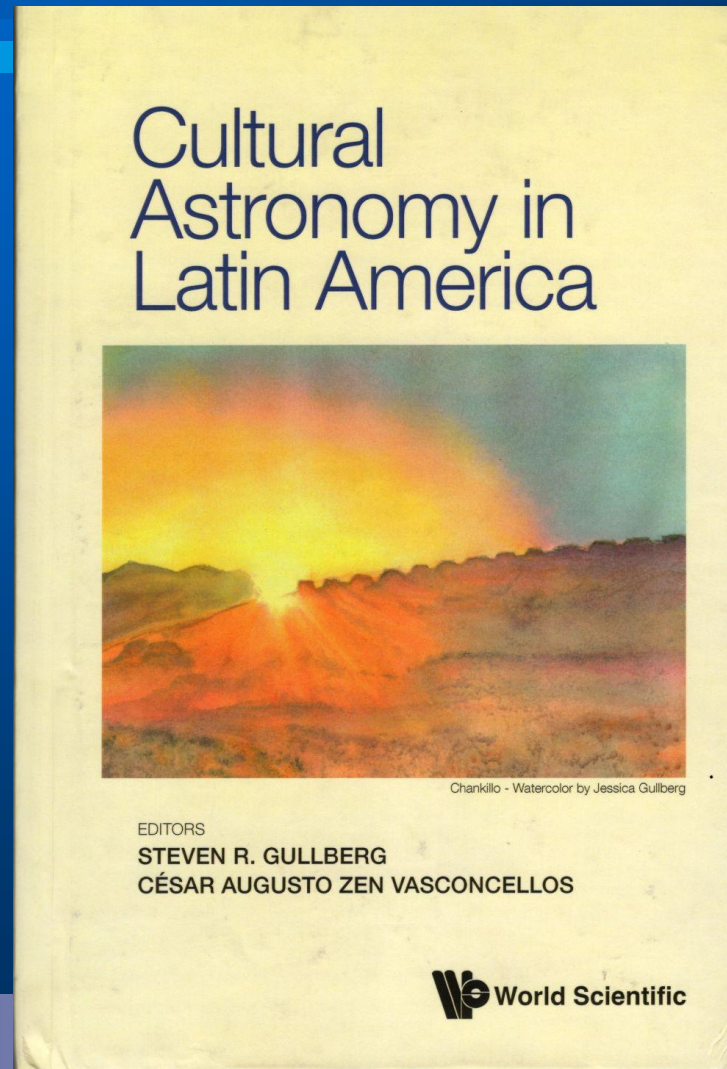
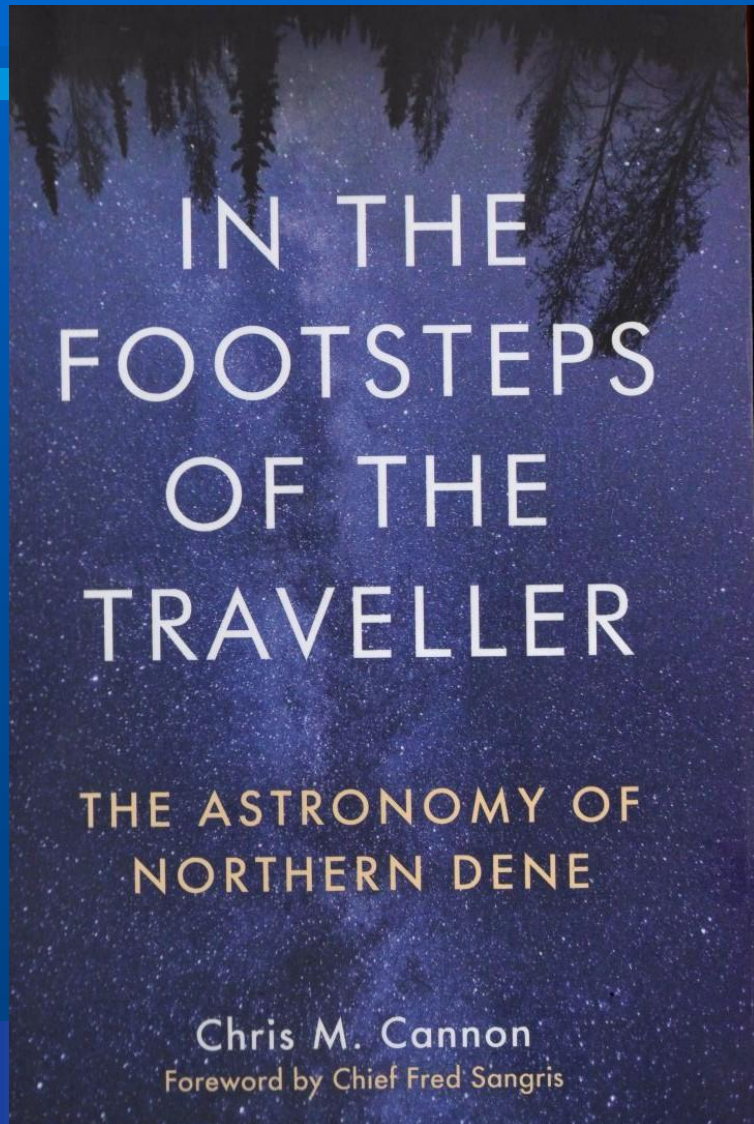


国際考古天文学・文化天文学会(文化の中の天文学)

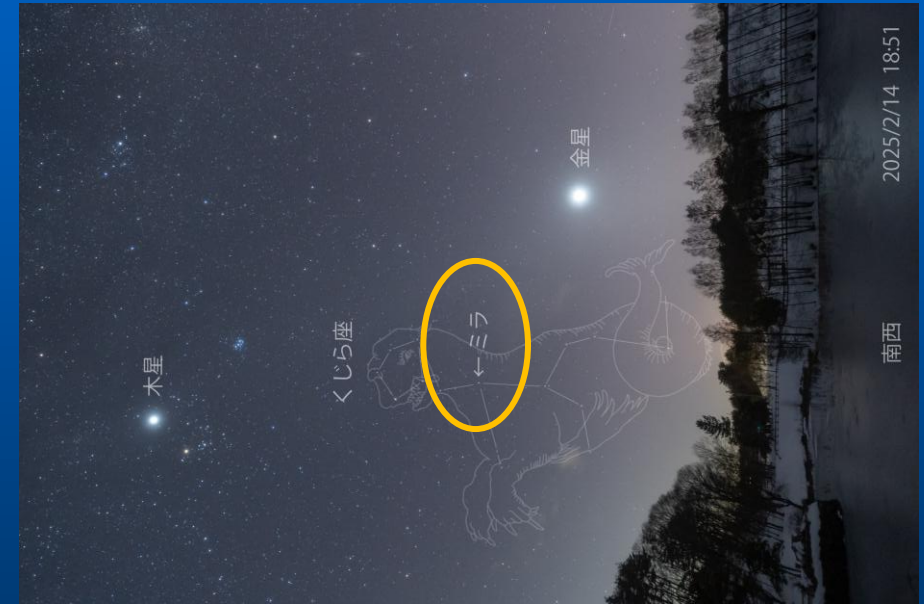
文化天文学(cultural astronomy)



ファースト・アストロノマーを探る「文化天文学」



秋・冬の星座：ペルセウス・アンドロメダ・ カシオペア・ペガサス・くじら座



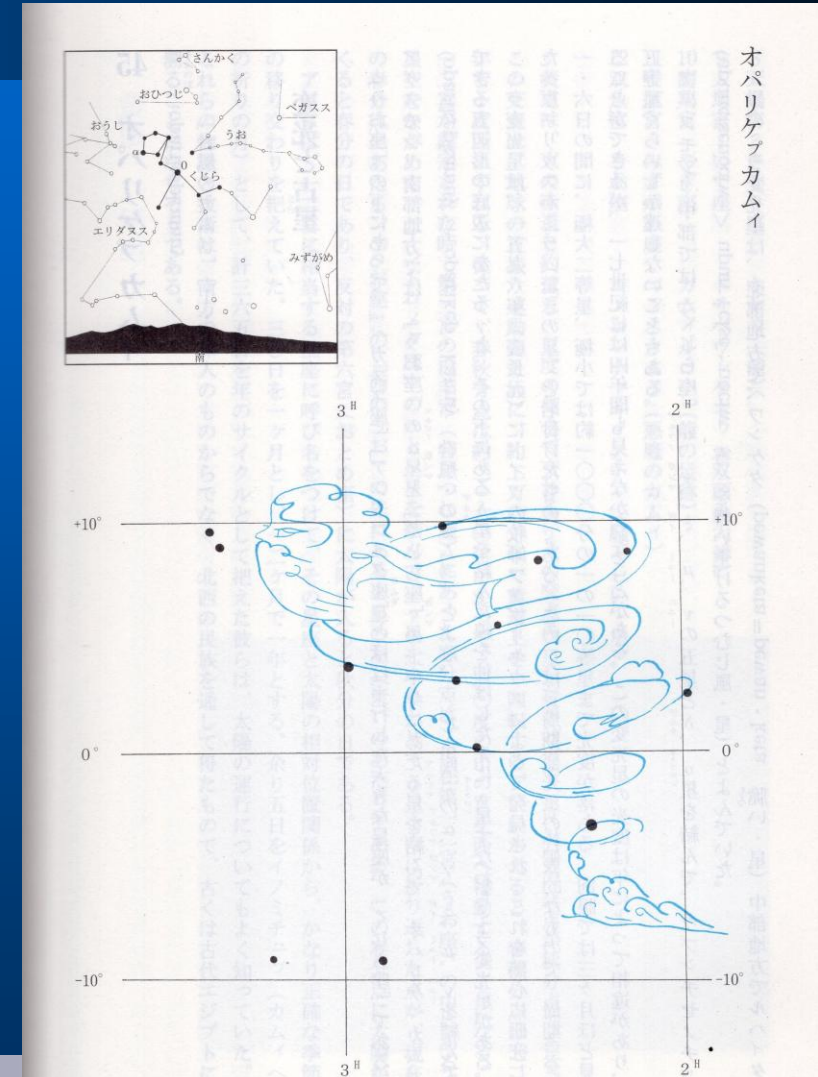
アイヌ民族の天文観察

- ファースト・アストロノマーは、単に天体の運行だけではなく、その瞬き方の違いや変光まで観察。

北海道南部では魚座の α 星とくじら座の上半身にあたる星を結んで「オパリケプカムイ(台風のカムイ)」と呼んでいた。中部ではくじら座の5星と δ 、 ϵ を結んでウプンチセノチウ(雪・を米あげるつむじ風・星)」と呼んでいた。

- くじら座の ϵ (オミクロン星)ミラMiraは周期331.6日の間で2等星から10等星まで明るさが変わる長期変光星。

北部ではペワンケタ(脆い・星)、中部ではルハイトノチウ(もうろく・星)、あるいはエサマン・ノチウ(カワウソ・星)と呼ばれ、星占いの対象になったのではないかと(末岡 2009:479-481)。



近代科学と在地(Indigenous)科学との関係

(1). 在地の知恵を科学で後付けして説明する

ー＞昔の人も凄かった！

(2). 近代科学が気がつかなかった現象を在地の科学がすでに観察していた。

ー＞新たな科学的研究の共同始まる

例 オーロラの音

文化天文学(cultural astronomy)



アンソロポリウム(人類学的プラネタリウム) 鹿児島県喜界島(2021年から毎年)



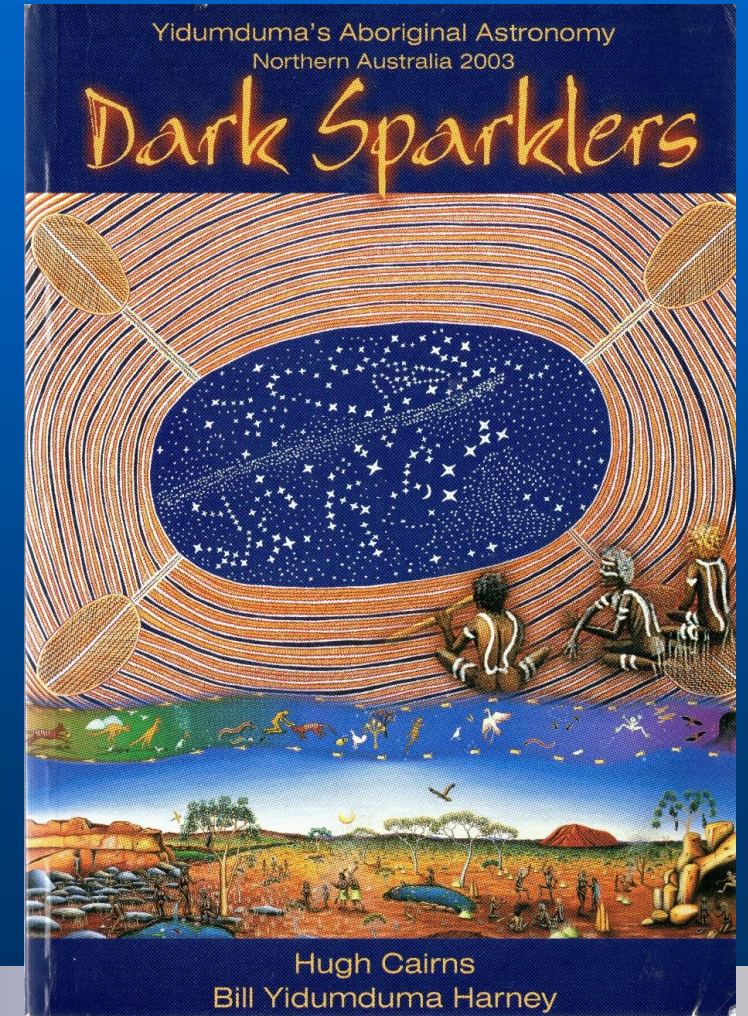
名古屋小学4年生チャレンジ(2023年8月)



プラネタリウムと組み合わせた、
小学生指導のワークショップ



新たな天文学あるいは「科学」の表現方法： 北米やオーストラリアと先住民の天文アート



大阪国立民族学博物館特別展:「舟と人類」 関連プラネタリウムワークショップ(11月8,9日 & 12月6, 7日)

民博 50 周年記念特別展ワークショップ

「神話でたどるハワイから
タヒチへの古代航海術」

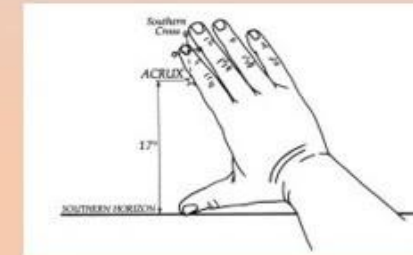


若きハワイアン・キラと伝説の航海師モイケハ
(大林龍夫制作)

船の科学館
海の学びミュージアムサポート
Supported by 日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION



ハワイ・ホクレア号のスターチャート
(明石市立天文科学館制作)



手をかざして南十字の高さを測ろう!
(B. Finney 1994: Figure 16).

協力 総合地球環境学研究所・SceNE プロジェクト
プログラム・映像制作 ウィルシステムデザイン
投影担当 ピクシスノーティカ株式会社

ご清聴ありがとうございます。

